



ICRERA 2026

15TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON RENEWABLE ENERGY RESEARCH AND APPLICATIONS
第15回 再生可能エネルギー研究応用国際会議

Sponsorship Plan

2026/10/12(月)～2026/10/15(木)
フランス パリ

<https://www.icrera.org>

1 About ICRERA 2026

October 12 – October 15, 2026, Paris, France



Maison des Sciences
del'Environnement
OSU-EFLUVE, University of
Paris-Est Créteil
Address: 5 Rue Pasteur Vallery
Radot, 94000 Créteil, France



ICRERAの概要

再生可能エネルギー研究応用国際会議/the International Conference on Renewable Energy Research and Applications (ICRERA) とは？

- ・目的：現在、日本はグリーンエネルギーへの大転換、半導体産業の再興、ガソリン車からEVへのシフトといった多くの課題に直面おり、これらの課題をサポートするデジタル技術の発展もまた望まれている。これらの課題を解決すべく政府が進めているカーボンニュートラルを成し遂げるために米国電気電子学会IEEE、電子情報通信学会、電気学会を始めとする世界中からの研究者、技術者が集ってデバイスから機器、システムまで一気に扱い解決策を議論する。
- ・歴史：2012年度より発足し、世界各地で開催。IEEE・電子情報通信学会・電気学会等から協賛を得ている。
- ・開催都市一覧：長崎 (2012)、Madrid (2013)、Milwaukee (2014)、Palermo (2015)、Birmingham (2016)、San Diego (2017)、Paris (2018)、Brasov(2019)、Glasgow (2020)、Istanbul (2021-2022)、Oshawa (2023)、Nagasaki (2024)、Wien (2025)
- ・コミッティメンバー：パワーエレクトロニクス、電力システム、太陽電池、バッテリー材料などにおける権威ある専門家とビジネスパーソン
- ・参加者：世界64か国より約600名 (2025年)

主催・協賛・後援・協賛

- ・主催: International Journal of Renewable Energy Research(IJRER)IJRERは、再生可能エネルギー(グリーン)エネルギー資源のさまざまなトピックと技術に関する知識を促進、普及させることや再生可能エネルギーの研究、開発、応用、または設計の分野における重要な成果を国際社会に提示することを目的としています。このジャーナルはまた、研究者、科学者、製造業者、機関、世界機関、社会などが理論とアプリケーションの新しい発展に追いつき、温室効果、持続可能でクリーンなエネルギー問題などの現在の問題に対する代替エネルギーソリューションを提供するのを目的としています。

本ジャーナルは世界約30カ国の、Editorial Team 40名 Editorial Board53名の計 93名による研究者により構成されています。

- ・共催: 長崎総合科学大学
- ・協賛: IEEE (米国電気電子学会) Industry Applications Society
IEEE Industrial Electronics Society
IEEE Power Electronics Society Japan Joint Chapter
IEEE Power Electronics Society Fukuoka Chapter
電子情報通信学会
電気学会
長崎大学
日本船舶海洋工学会

2026年度開催日程の概要(予定)

ICRERA2026 開催期日 : 2026年10月12日(月)～10月15日(木)

- | | |
|-----------|--|
| 10月12日(月) | Tutorial1～6, IEEE IAS Professional Development Workshop |
| 10月13日(火) | オープニングセレモニー, キーノートスピーチ1,2 インダストリアルセッション,
一般講演, ウェルカムパーティー
- キーノートスピーカー1: 梅谷和弘 教授(九州大学) -
- キーノートスピーカー2: 赤津観 教授(横浜国立大学) - |
| 10月14日(水) | キーノートスピーチ3,4 一般講演, ガラディナー
- キーノートスピーカー3: Professor João Martins (Universidade Nova de Lisboa) -
- キーノートスピーカー4: 宮野健介氏(株式会社TMEIC 事業部長) - |
| 10月15日(木) | 一般講演, クロージングセレモニー |

Topics

Topics within the scope of the conference include the following areas, but not limited to:

- Renewable (Green) Energy Systems and Sources (RESSs) as Wind Power, Hydropower, Solar Energy, Biomass, Biofuel, Geothermal Energy, Wave Energy, Tidal energy, Hydrogen & Fuel Cells, Energy Storage
- New Trends and Technologies for RESSs
- Policies and Strategies for RESSs
- Energy Transformation from Renewable Energy System (RES) to Grid
- Novel Energy Conversion Studies for RESs
- Power Devices and Driving Circuits for RESs
- Control Techniques for RESs
- Grid Interactive Systems Used in Hybrid RESs
- Performance Analysis of RESs
- Hybrid RESSs
- Decision Support Systems for RESSs
- Renewable Energy Research and Applications for Industries
- RESSs for Electrical Vehicles and Components

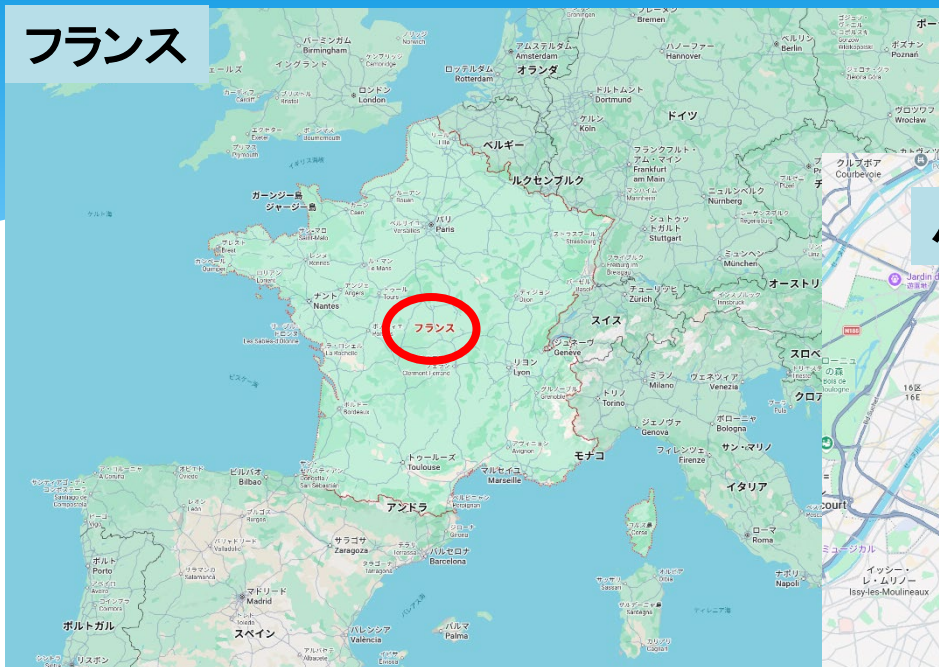
Topics(続き)

- Artificial Intelligence and Machine Learning Studies for RESs and Applications
- Computational Methods for RESSs
- **Energy Savings** for Power Electronics, Vehicular Technology, Electric Machinery and Control, etc.
- New Approaches in Lightings
- Public Awareness and Education for Renewable Energy and Systems
- Reliability and Maintenance in RESSs
- Smart Grids and RESSs
- Safety and Security of RESSs
- Renewable Energy Systems in Smart Cities
- Future Challenges and Directions for RESSs
- IoT for RESSs
- Energy Management, VPP(Virtual Power Plant) and ERAB (Energy Resource Aggregation Businesses) for RESSs
- Model based Design and Digital Twin for RESSs

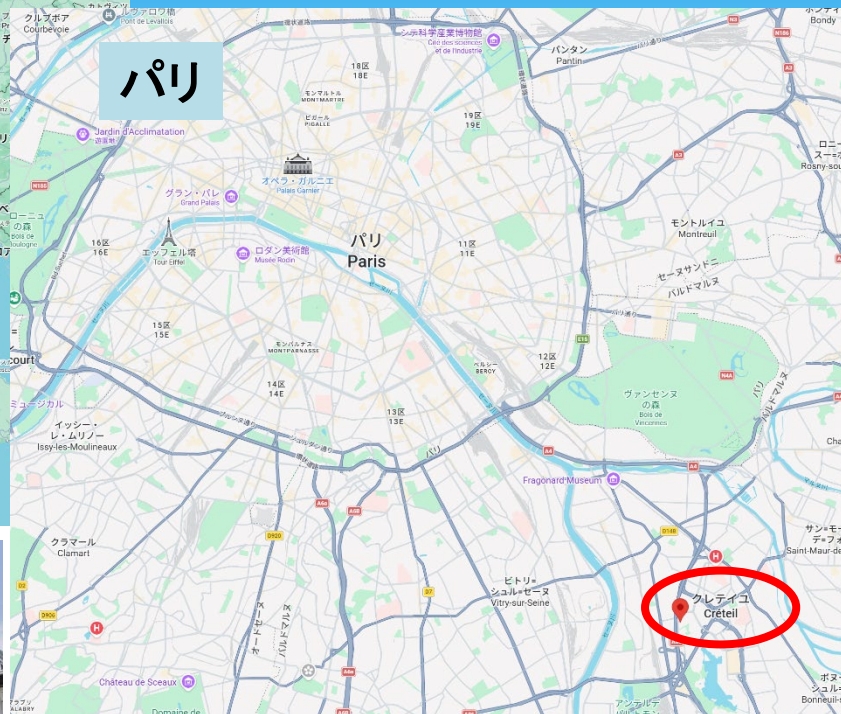
・分野

- ・風力発電、水力発電、太陽エネルギー、バイオマス、バイオ燃料、地熱エネルギー、波力エネルギー、潮力エネルギー、水素発電、燃料電池、エネルギー貯蔵などの再生可能(グリーン)エネルギー システムおよび資源(Renewable (Green) Energy Systems and Sources: **RESS**)
- ・電気自動車/水素自動車およびコンポーネント用の RESS
- ・RESS の新しいトレンドとテクノロジー
- ・RESS のポリシーと戦略
- ・再生可能エネルギー システム (**RES**) から送電網へのエネルギー転換
- ・RES の新しいエネルギー変換研究
- ・RES用のパワーデバイスと駆動回路
- ・RES の制御技術
- ・ハイブリッド RES で使用されるグリッド インタラクティブ システム
- ・RES のパフォーマンス分析
- ・ハイブリッド RESS
- ・RESS 用の意思決定支援システム
- ・再生可能エネルギーの研究と産業への応用
- ・グリーンデータセンター
- ・カーボンニュートラルポート(CNP)
- ・RES とアプリケーションのための人工知能AIと機械学習の研究
- ・RESS の計算方法
- ・パワーエレクトロニクス、車両技術、電気機械および制御などの省エネ
- ・RESモータードライブ
- ・照明における新しいアプローチ
- ・RESS の信頼性とメンテナンス
- ・スマートグリッドとRESS
- ・RESS の安全性とセキュリティ
- ・スマートシティにおける再生可能エネルギーシステム
- ・RESS の今後の課題と方向性
- ・RESS 向けの IoT
- ・RESS向けのエネルギー管理、VPP(仮想発電所)およびERAB(エネルギー資源アグリゲーション・ビジネス)
- ・RESS 用のモデルベースの設計とデジタルツイン

フランス



パリ



会場 : Maison des Sciences
de l'Environnement
OSU-EFLUVE, University of
Paris-Est Créteil
住所 : 5 Rue Pasteur Valley
Radot, 94000 Créteil, France

フランス・パリ



凱旋門



ルーブル美術館



Committee Members 1

Honorary Chairs 2026

Mr. Yoshinobu Higashi, Former Japan Ambassador to Romania

Mr. Hidehiko Kikuchi, Corporate Senior Advisor to TMEIC, Japan

Professor Gilles Lefebvre, ETH, Universite Paris-Est Creteil, France

General Chair

Professor Brayima DAKYO, Universite du Harve, France

General Co-Chairs

Professor Ilhami Colak, Istinye University, Turkey

Professor Fujio KUROKAWA, Nagasaki Institute of Applied Science

Professor Mustapha KARKRI, University of Paris Est Creteil, France

Professor Mahamadou ABDOU TANKARI, Universite Paris-Est Creteil, France

Professor Mamadou Bailo CAMARA, Universite du Harve, France

投稿論文目標 600編
発表論文数 300編
参加者数目標 400名

締切日等

3 to 5 Pages Long Digest Submission Deadline	Sep 1, 2026
Notification of acceptance	Sep 20, 2026
Final submissions due	Sep 25, 2026
Conference	October 12-15, 2026

スポンサーと展示



a)ダイヤモンド パートナーズ

費用:EUR 20,000(約3,700,000円)

内容:展示ブース位置の優先確保、インダストリアルセッション1枠、

ICRERA webサイトにロゴとリンク、5個の展示バッジ、会議期間中ダイヤモンドステータスのディスプレイ表示、会議バッグ採用の場合は会社ロゴ、プログラム冊子にカラー広告と会社ロゴ、会議バッグに広告用紙一枚、バンケットの予約席、オープニングセレモニーとパーティー会食時にダイヤモンドパートナーズとして紹介

b)ゴールド パートナーズ

費用:EUR 10,000(約1,850,000円)

内容:展示ブース、インダストリアルセッション1枠、ICRERA webサイトにロゴとリンク、

3個の展示者バッジ、会議期間中ゴールドステータスのディスプレイ表示、会議バッグ採用の場合は会社ロゴ、プログラム冊子にカラー広告と会社ロゴ、会議バッグに広告用紙一枚、バンケットの予約席

c)ブロンズ パートナーズ

費用:EUR 6,000(約1,110,000円)

内容:展示ブース、インダストリアルセッション1枠、ICRERA webサイトにロゴとリンク、

2個の展示者バッジ、会議期間中ブロンズステータスのディスプレイ表示、会議バッグ採用の場合は会社ロゴ、プログラム冊子に半ページのモノクロ広告と会社ロゴ

※展示者バッジには、オープニングセレモニー、インダストリアルセッションへの参加が含まれます。

※展示者バッジは会議のプログラム会場およびバンケットへの入場にはご利用出来ません。

※スポンサー会員様の会議登録費用は、メンバー料金となります。

スポンサーのメリット

1 企業プレゼンスの向上

- ・再生可能エネルギーの国際会議をサポートすることで、カーボンニュートラル対応をしているというイメージを国内だけでなく海外40か国以上に発信できる。

2 国内外キーパーソンとのネットワーク構築

- ・講演に来ている国内外の企業の経営層や技術者 及び大学の高名な教授や研究者とウェルカムパーティ、コーヒープレイク、ランチ、ポスターセッションで会期中に10回以上繰り返しコンタクト可能。しかも1回当たりの滞在コンタクト時間が長い。

3 会社の事業内容を繰り返し発信

- ・会議での講演、インダストリアルセッションでの講演、展示、ホームページや会場でのロゴ展開を通して事業内容を繰り返し発信でき、さらに情報交換を出来る機会が多数ある。商談する個室も準備されている。展示内容は再エネに限らず、参加者を対象にしたもので構わない。

4 グローバルな修士学生の採用機会

- ・本会議には100～200名の電気電子系、情報系の英語で発表できる優秀な修士学生が参加するので、会社のリクルート活動になる。

5 産学共同プロジェクトの機会創出

6 参加企業、地元産官学金との交流機会創出

Contact

Local Arrangement
icrera@gmail.com

Conference Web
<https://www.icrera.org>

秘書室 濱口 多恵 / 大塚 操

Tel: 095-838-5157

E-mail: hamaguchi_tae@campus.nias.ac.jp
otsuka_misao@campus.nias.ac.jp

〒851-0121 長崎県長崎市宿町3-1